

レクチャー3 14:40-15:20 (第1 Zoom 会場)

チーフのリーダーシップ、マネジメント能力を引き出すには？

○ 野木 真将 (米国クイーンズメディカルセンターホスピタリスト)

チーフレジデントは多種多様な役割を求められる研修医の代表である。自身では意識していないかもしれないが、この機会を最大限に生かすことでリーダーシップスキルやマネジメント能力を大幅に成長させる可能性がある。組織としても若手の有望株にチーフレジデントというチャンスを提供することで将来のリーダーを早期に育成できるというメリットがある。

クリーブランドクリニックなどでは Emotional intelligence (心の知能指数) を主軸にチーフレジデント向けのワークショップなどが提供されている¹⁾。このように米国のチーフレジデント課程は、教育スキルだけでなくリーダーシップスキル、マネジメントスキルを実践する場として生かされている。

リーダーシップやマネジメントスタイルはたくさんあり、一朝一夕では身につけることはできない。会社経営と医学研修は異種かもしれませんが、共通点もある。他分野に目を向けることで参考になる部分は大いにあると思われる。本講義では、他施設の取り組みを紹介すると共に、チーフレジデントを開始する前にどのように組織内のリーダーとして成長できるかのヒントを模索するきっかけを目指している。

1) Farver et al. Australasian Psychiatry (2016) Vol24 (5) 499-505. PMID: 27683857

野木 真将 (米国クイーンズメディカルセンターホスピタリスト、JACRA 顧問)

兵庫県出身。2006年、京都府立医大卒。宇治徳洲会病院で初期および後期研修後、2011年より米国ハワイ大学内科レジデント。2014年より同プログラム内科チーフレジデント。ハワイ大学医学教育フェローシップ修了。2015年より現職。米国内科レジデントへの教育アテンディングとして勤務しながら、FAIMER-英国 Keele 大学にて医学教育修士課程 (MHPE) を履修中。